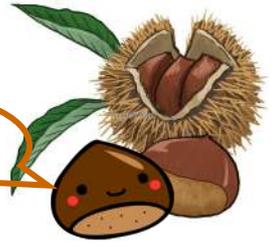


ステーション

ニュース



34号

今月の表紙は



矢倉 里美さん（55歳）

「今は芥川きどクリニックの先生に診て頂いてますが、みどりヶ丘に救急搬送され9年になります。『入院してトイレに行けることが当たり前ではなく感謝、普通食が食べれることも当たり前ではなく感謝』と思いました。

みどりヶ丘訪看からのリハビリをお願いして今回4回目ですが、日常生活の訓練指導・アドバイスして頂き、理学療法士の先生や看護師さん、ヘルパーさん達、そして最たるは主治医の先生に支援サポートして頂き、在宅生活が出来ていてありがたいです。

死ぬまで在宅生活頑張りたいです。これからもご指導よろしくお願い致します m(_ _)m」
(ご本人より)

「在宅支援を受けられることも当たり前ではない！」って思ってます！



♪つぶやき♪

9月は秋のお彼岸。今年の中日は22日です。秋は「おはぎ」で「つぶあん」が一般的のようですね。あんこは糖分が多いですが、栄養もたっぷりですよ！中のモチモチのお米に気を付けながら、おいしさと季節を感じてみて下さい(^_^)



❀ お知らせ & お願い ❀

まだまだコロナ感染症が流行しています！
体調が「いつもと違うな？」と思った時は検温を行ないましょう。
発熱時には当事業所やかかりつけの先生にご相談下さい。

9月1日は「防災の日」

防災の日が9月1日なのは関東大震災の発生日が由来ですが、制定は昭和34年9月26日に発生した「伊勢湾台風」を機に翌年決められました。

防災の日は**防災意識を啓発する日**です。最近、大きな地震が続いていますのでぜひ対策、見直しの機会にしてみてください。

とりあえず行えそうなものを3つ挙げてみますので、参考にして下さい(*^-^*)

❖持ち出し用防災セットを見直す❖

持ち出しセットがない方は作って、ある方は**賞味期限や電池などの状態**を確認しましょう。

★防災アプリをダウンロード★

スマートフォンをお持ちの方は一番簡単にできる対策です。

おすすめアプリ

- 特務機関NERV防災
- Yahoo防災速報
- NHKニュース防災

👉自宅避難の備蓄品を備える👉

自宅避難をする場合には、**最低1週間ほど生活できる備蓄品が必要**です。長期保存が可能なものを備えるのが基本ですが、特に食べ物などはローリングストック法を活用して効率よく備えましょう。

災害はいつ起こるかわかりません。**手を付けやすいところから始めて**、防災に意識が向くようにしていきましょう！

9月21日は「世界アルツハイマーデー」

主な認知症の種類としては、アルツハイマー型認知症、脳血管型認知症、レビー小体型認知症の3つが挙げられますが、最も多いのがアルツハイマー型認知症になり、全体の約7割を占めます。

WHOはこの日を受けて9月を「世界アルツハイマー月間」と定めています。日本でも各地でのイベントや関係団体が活動していますが、その中に「認知症の人と家族の会」という団体があります。「家族の会」は全国47都道府県に支部があり介護者・ご本人の交流会や電話相談などを行っています。興味のある方はホームページなどを参考にしてみてください。



みどりヶ丘訪問看護ステーション 理念

私たちは、看護・リハビリの
発想と技術を駆使し、
あなたが生活の場において
笑顔で過ごせるよう支援していきます

社会医療法人 祐生会
みどりヶ丘訪問看護ステーション

〒569-1127 高槻市西真上1-35-17
Tel: 072-681-5605

❖編集後記❖

今回のホットなネタは「令和の米騒動」。お米の消費が上がり、生産が少～し減ったのを受けてお盆明けより大フィーバー…。30年前の「平成の米騒動」でタイ米を食べたことを思い出しますなあ…。

つぶやきでおはぎの話をしましたでしたが、私は圧倒的につぶあん好きなのですが、まわりにつぶあん派同志が少ないのでショボボンです(ノ、ノ)